

## 37 個目の秋 Thirty Seventh Times Around Autumn (4'22")

(歌) 杉山賢人

「もう春なのに」、「グルジアのワイン」の2作の配信が絶賛好評中のソングライター杉山賢人が、メランコリックな秋にぴったりのナンバーを配信リリースしました。

都内を中心にギター一本のライブ活動を頻繁に行っている杉山。「グルジアのワイン」ではそのライブ感を感じさせるフォークサウンドでしたが、この「37個目の秋」は、ニュー・ミュージックの雰囲気をもった私小説的な新曲となっています。

杉山の最新インタビューでは、「ボブ・ディランのジョン・ウェズリー・ハーディングの様なサウンドにしたかったんだ、サイケの気分が終わって原点復帰への67年のサウンドをね。それに現代詩を書いて歌を歌ってきたけれども、カントリー・ミュージック的なストーリー性を持った言葉も歌ってみたかったんだ。」とのこと。本人の公言は無いが「もう春なのに」の続編的な今作もグッと我々リスナーの心を掴むものとなっています。



杉山賢人  
2022年12月23日西神田にて

### アルバム好評発売中!

2022年12月23日西神田にて

CMST001  
2,000円(税別)

僕はB面  
冬の陽  
雨上がりだよ  
他

### ■ 37 個目の秋 杉山賢人作詞・作曲

別れの春の後  
故郷に戻ってきて  
暑い夏をなんとか  
部屋で過ごしてきました

近所のお寺の  
茂った木陰を  
うまく使ながら  
暑さを避けて生きてみました

夕立を窓越しに観たりして  
枯れ木の様な身体を起こして  
外へ出かけて僕は  
歩き続けています

そして37個目の秋  
前とは少しちがう  
そして37個目の秋  
もうすぐ冷たい冬が来るね

不思議なことがある  
めぐる季節のように  
新しく何か生まれ  
変わる気持ちもこの身体も

